

沖縄セルラーグループ健康宣言

沖縄セルラーグループは、社員が幸せで、活力ある企業であり続けるためには、社員の「健康」が重要な経営課題と捉え、「社員の物心両面での幸福を追求すること。」との経営の理念のもと、社員一人ひとりの健康を組織で支える健康経営を推進し、豊かな未来に挑戦し続けることを宣言します。

- 1.社員自身が自律的に健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
- 2.社員と社員の家族が笑顔で過ごせるよう、会社・KDDI健康保険組合が一体なって、心身の健康作りを推進します。
- 3.社員の心身の健康の保持・増進への取組みにより、沖縄セルラーグループに「健康を大切にする文化」を定着させ、社員の活力と生産性の向上を追求します。
- 4.社員の健康寿命を伸ばして、沖縄県の「健康・長寿おきなわ復活プラン」の取組みに貢献します。

活動概要

沖縄セルラーグループの健康経営推進は、沖縄セルラー電話の取締役経営管理本部長を健康管理最高責任者とし、健康管理最高責任者の下、「健康推進ワーキング」を設置、安全衛生委員会とも連携し、社員の健康面での施策を推進しています。

主な取り組み

- 生産性向上および社員の健康確保に向けて「働き方改革」の推進
 - ・ 長時間労働対策の推進
(ノー残業デー、退社時間の上限20時、プレミアムフライデーなど)
 - ・ RPA (Robotic Process Automation) による業務の自動化を推進
- 日々の体調管理に向けた取り組み推進
(タニタ健康プログラムの導入、歩数計測・体組成計測定イベント)
- 社員食堂において低カロリーメニューの提供

沖縄セルラーグループ健康経営への取り組み

社員の健康 = 企業の成長

